

災害復旧事業によせて

平成16年災 足羽川災害復旧助成事業について

「希望」と「安心」のまち「ふくい」を目指して



福井市長
東村新一

1. 私たちのふるさと

この度、一級河川足羽川にかかる災害復旧助成事業について、沿川自治体としてご紹介の機会を得ましたことに対して、深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、私たちの福井市は、九頭竜、足羽、日野の三大河川の扇状地である福井平野に発達した沖積平野で、約1500年前には、この地にゆかりの深い男大迹皇子（おおとのおうじ）、後の継体（けいたい）天皇の治山治水事業によって、一面の沼沢地が肥沃な平野に生まれ変わったとも言われています。

その後、文化の発達にともなう地勢的な関係から、北陸道の要衝として栄えるようになりました。

明治22年に市制が施行され、以来、本市は福井県における政治、経済、文化の中心都市として発

達し、その間、昭和20年7月の空襲、昭和23年6月の福井大震災と再度にわたって壊滅的な打撃を受け、さらに風水害など幾多の災害に見舞われましたが、市民の不屈の精神によって不死鳥のようによみがえり、今日の『不死鳥のまち福井』を築き上げてきました。

また、平成18年2月1日には、隣接する美山町、越廼村、清水町の3町村と合併し、人口27万人、面積536km²となり、地域の特色を生かしながら日本海側の主要都市としてのまちづくりを進め、これからも北陸の雄都としてさらに発展を続けてまいります。



福井市位置図

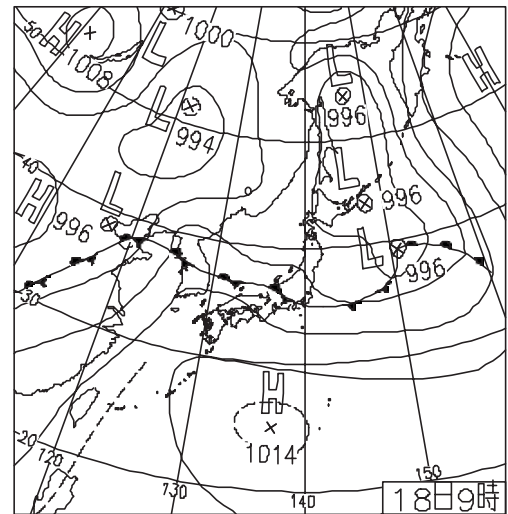


「越前水仙」

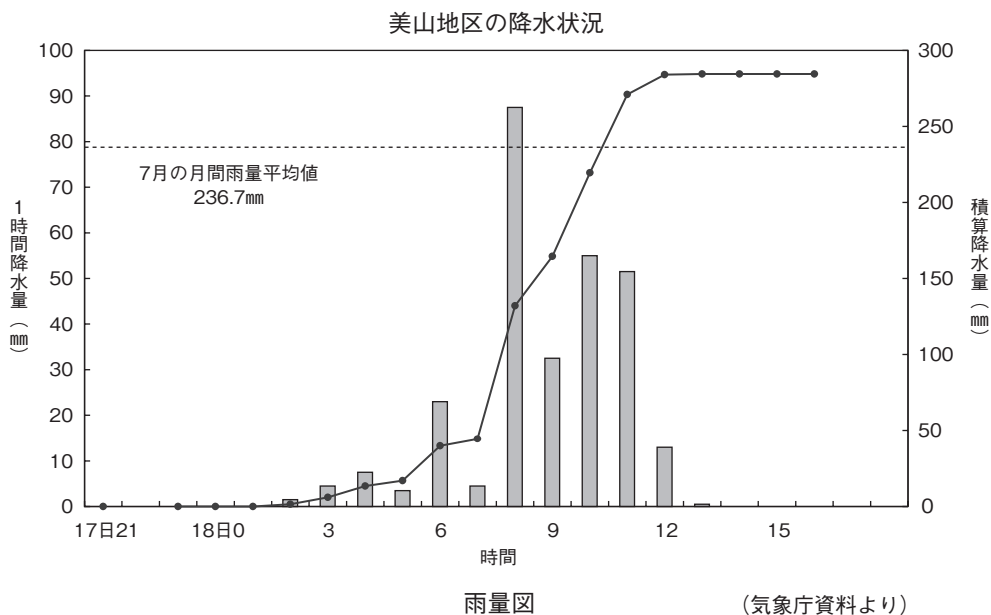
越前海岸の越廼地区は越前水仙発祥の地として知られ、海岸線や山肌に咲き乱れる水仙の花は、越前海岸の冬の風物詩です。

2. 福井豪雨の爪あと

平成16年7月17日夜から18日にかけて、活発な梅雨前線が北陸地方をゆっくり南下したのに伴い、福井県内で大雨となりました。特に、18日早朝から昼前にかけて福井県嶺北北部の足羽川上流域を中心とした狭い範囲に非常に激しい雨が降り、美山観測所では1時間雨量87mm、わずか4時間ばかりの間にかつて経験したことのない猛烈な雨に見舞われ、降り始めからの雨量は観測史上最大の285mmに達し、平年7月の月間雨量236.7mmを上回る記録的な豪雨となりました。



天気図 (気象庁資料より)



雨量図 (気象庁資料より)

この集中豪雨により、山間地では泥流が一気に道路や家屋を呑み込み、さらには大量のごみや流木が橋に引っかかり、JR橋5橋、旧町道1橋が落橋しました。また、流下能力を大きく上回る洪水で、旧美山町では足羽川が氾濫、押し寄せる濁流によって、駐車場や民家などに止めてあった自動車はもちろん大型バスまでもがなす術もなく流されるなど、自然の猛威を物語る光景がそこかしこで見られました。美山地区では電気や水道など

ライフラインの寸断、さらには旧美山町役場庁舎の1階部分が水没し、早朝より集まった職員も孤立するなど危機対策において重大な支障が生じました。その下流に位置する福井市の市街地では、内水氾濫に加え、足羽川左岸の堤防が決壊し、流れ込んだ泥水によって都市機能は完全に麻痺してしまいました。この惨状により、全壊47戸、半壊78戸、床上浸水2,652戸、床下浸水8,848戸という未曾有の大災害となりました。



濁流となって流れる足羽川（福井市大久保町）



建物裏を流れる足羽川が氾濫し、1階が水没した旧美山町庁舎（福井市美山町）

地区全体が川のようにになりました。多くの車輛が下流に流されていきました。

3. 災害復旧助成事業について

沿川地域に甚大な被害が発生した足羽川において、原型復旧だけでは再度災害が発生する恐れがあることから、平成16年度に国の災害復旧助成事業の採択を受け、福井県が平成20年度までの5箇年施行による事業が実施されました。この区間は河川勾配が急で大きく蛇行し、かつ河川断面も小さいことから、上流のダム計画および下流の激甚災害対策特別緊急事業との整合を計りつつ、再度災害の防止に努めながら順調に事業を進めていただいております。平成20年2月現在、工事延長割合での進捗率が約90%と聞き及んでおり、民生の安定を図る上でたいへん心強く思っております。

足羽川災害復旧事業の概要（福井県土木部資料より）

河川名：一級河川足羽川

事業期間：平成16年度～平成20年度

事業延長：15.9km（天神橋～蔵向橋）

事業主体：福井県

工事内容：河積拡大

河道工…引堤および河床掘削。

護岸工…掘削に伴う護岸施工。

被災箇所への護岸も復旧。

根固工…深掘れの恐れのある箇所への補強。

築堤…堤防高確保のための盛土施工。

橋梁架替

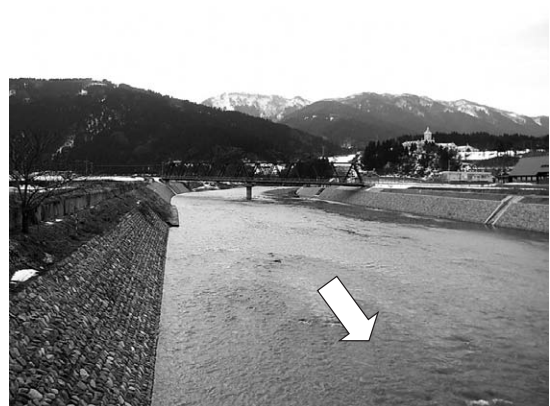
JR（越美北線）橋5橋、道路橋4橋の架替え。

被災後

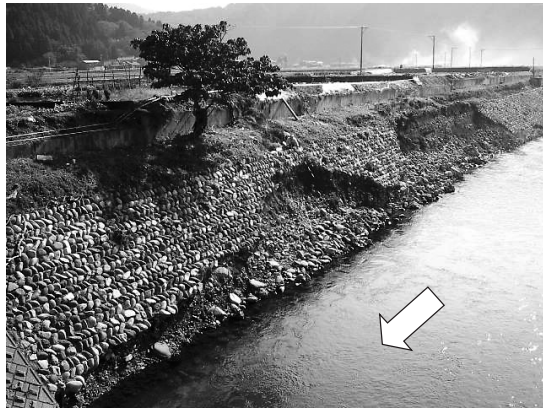


市波～福島 改良工区 JR 第5橋梁（流失）

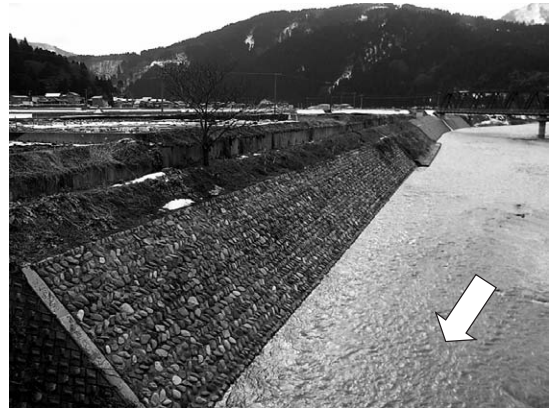
復旧工事完了後



改良工 河積拡大、橋梁架替



市波～福島改良工区



改良工 河積拡大



脇三ヶ町～宿布町改良工区 JR 第1橋梁（流失）



改良工 河積拡大、橋梁架替

平成19年6月30日には、被災以来不通（バス代行）となっておりましたJR越美北線の一乗谷～美山間が復旧し、待ち望んでおりました全線での列車運行が再開されました。この全線復旧により、県都福井市と奥越地区が再び鉄路で結ばれたことは、本市におきましても交通の東西軸として、沿線

住民の生活や地域に大きな役割を果たすものであります。当日は美山駅で盛大な記念式典が行われ、沿線では地元有志による郷土芸能の演舞やコンサートなど盛況な記念行事が日没を過ぎてもなお続き、沿線住民の越美北線に寄せる思いを感じながら、復旧の喜びを分かち合う一日となりました。



越前美杉太鼓



美山音頭

沿線では終日、復旧の喜びに沸きかえりました（JR美山駅）。

4. 災害に強いまちづくりに向けて

本市ではこの大災害を教訓に、市民の生命・財産を守り、被害を最小限に留めることを目標に掲げ、災害に強く「安心」と「安全」を実感できる「ふくい」を創りあげていきたいと考えております。現在取り組んでいることは、危機情報システムの整備や洪水ハザードマップの作成、自主防災組織の結成及び活動支援を積極的に行い、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちづくりを進めているところです。ハード事業としましては国や県と協力し、足羽川の激特事業や、足羽川ダムの整備など、内水氾濫対策も含めた治水能力の向上を第一に推進しているところです。しかし、治水対策は河川改修だけでなく、水を溜める方法など、総合流域対策が必要と考えますので、省庁間を越えた防災対策や土地利用規制などの法整備にも、特段のご配慮をお願いしたいと存じます。

そして、来る平成21年春には、天皇皇后両陛下

をはじめ、県内外から8千人近くの参加者をお迎えし、福井豪雨で壊滅的な被害を受けました福井市一乗地区、美山地区において「第60回全国植樹祭」を開催いたします。この植樹祭を契機に、水害や土砂災害を防ぎ、二酸化炭素の吸収など地球環境への負荷軽減に多様な機能をもたらす豊かな森林づくりや、花や緑にあふれ美しく誇りの持てる元気なふるさとづくりを進めてまいりたいと考えております。またこの機会に被災地区の復興の様子や、自然と歴史文化豊かな福井を全国に発信したいと考えております。

最後に、災害復旧に際し、国土交通省、福井県をはじめ、多くの関係機関各位に賜りましたご支援に対し、深甚なる謝意を表しますとともに、今後とも災害に強いまちづくりに努力いたす所存でありますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげ、稿を終えます。



第60回全国植樹祭会場「一乗谷朝倉氏遺跡」

越前の戦国大名「朝倉氏」が築いた町並み跡が当時のまま残されており、「重要文化財」「特別史跡」「特別名勝」の三重指定を受けている全国でも希少な文化遺産です。